

平成 27 年度
全国学校保健・安全研究大会
開催要項



国体みきゃん

平成 27 年度全国学校保健・安全研究大会
愛媛県実行委員会

平成 27 年度全国学校保健・安全研究大会 開催要項

1 趣 旨

近年の、社会環境や生活環境の急激な変化は、子供の心身の健康にも大きな影響を与えており、学校生活においても生活習慣の乱れ、いじめ、不登校、ストレスによる心身の不調や児童虐待などのメンタルヘルスに関する課題、アレルギー疾患、性に関する問題行動や飲酒・喫煙・薬物乱用、感染症など、現代的な健康課題が深刻化している。また、登下校中の交通事故や事件、校舎からの転落事故への対応など、学校管理下における子供の安全確保が重要な課題となっている。更には、東日本大震災を鑑みた「防災教育」の充実、原子力災害への対応など、新たな課題も発生してきている。

これらの課題解決を図るためには、学校全体として学校保健・学校安全に取り組む校内の組織体制を整備するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育を推進する必要がある。

本大会は多年の研究の成果を踏まえ、生涯にわたり心豊かにたくましく生きる子供の育成をめざして、健康教育及び安全教育に関する諸課題について研究協議を行い、学校保健・安全の充実発展に資するものである。

2 主 題

生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進
－健康で安全な生活を送るために自ら実践できる子供の育成－

3 主 催

文部科学省 愛媛県教育委員会 松山市教育委員会 公益財団法人日本学校保健会
愛媛県学校保健会

4 期 日

平成 27 年 12 月 3 日（木）・4 日（金）

5 開催地及び会場

開 催 地 愛媛県松山市
会 場 全体会 ひめぎんホール（松山市道後町二丁目 5-1）
課題別研究協議会 ひめぎんホール、愛媛県総合社会福祉会館
にぎたつ会館、エスポワール愛媛文教会館
愛媛看護研修センター、子規記念博物館

6 内 容

(1) 全体会

- ・開会式
- ・表彰式

学校保健・学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰を行う。

- ・記念講演

講演内容 「子供たちの意志決定能力を育てる
－健康教育とライフスキル教育のコラボレーション－」

講 師 兵庫教育大学大学院 教授 西岡 伸紀

(2) 課題別研究協議会（別表）

課題に基づいた提案、研究協議、指導助言及び講義を行う。

7 日 程

	13:30	14:00	14:30	15:00	16:00	17:00	18:00
12月3日(木)			一般参加者 受 付		開会式 表彰式	講 演	
	受賞者 受 付	受賞者 打合せ会				受 賞 伝達式	
	9:00	9:30	12:30		14:00	16:30	
12月4日(金)		受 付	課題別研究協議会		閉 会	全国学校保健会中央大会	

8 参加対象者

- (1) 幼稚園・小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校の校(園)長、副校(園)長、教頭、主幹教諭、保健主事、養護教諭、保健体育科教諭、安全担当、学級担任、その他の教職員
- (2) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師
- (3) 教育委員会の学校保健・学校安全関係職員
- (4) 学校保健会事務局の職員
- (5) PTA会員、その他都道府県・指定都市・中核市教育委員会で適当と認めた者

9 関係団体が主催する行事

- ・ 第 65 回全国学校歯科医協議会 平成 27 年 12 月 3 日 (木)
- ・ 第 65 回全国学校薬剤師大会 平成 27 年 12 月 3 日 (木)
- ・ 第 46 回全国学校保健・学校医大会 平成 27 年 12 月 5 日 (土)

平成27年度全国学校保健・安全研究大会 課題別研究協議会

課題	研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第1課題	保健管理	生涯を通じて健康の保持増進を目指す疾病予防と保健管理の進め方 心豊かにたくましく生きる力を育てるためには、児童生徒の発達の段階を考慮して学校教育活動全体で取り組む必要がある。 そのため、学校での適切な保健管理の進め方について協議する。	① 児童生徒に係る心身の健康管理の進め方について ② 保健主事を核として推進する健康教育の在り方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取組について
第2課題	保健学習	心身の健康を保持増進するための実践力の育成を目指した保健学習の進め方 生涯を通じて心身の健康を保持増進するためには、健康の大切さを認識し、自らの健康を管理・改善していく資質や能力の基礎としての実践力を培う必要がある。 そのため、ヘルスプロモーションの考え方を生かした効果的な保健学習の進め方について協議する。	① 自らの健康を管理する能力の基礎としての実践力を育む保健学習の教材、教具の開発や指導方法の工夫について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③ 指導と評価の一体化を図る保健学習の工夫について
第3課題	心の健康	豊かな人間性と社会性を育み、心の健康の保持増進を目指す教育の進め方 自然災害や重大な事件・事故の発生に伴う子どもの心のケアや、友人や家族などの人間関係の悩みなど、メンタルヘルスに関する問題が多様化している中、これらの問題への適切な対応が求められている。 そのため、心の健康づくりを目指した教育活動や校内外の組織体制づくりの進め方について協議する。	① 児童生徒の課題に即した心のケアや健康相談の進め方について ② 心の健康づくりを目指した教育活動の展開と環境整備等の進め方について ③ 学校、家庭及び地域の関係機関との連携を図った心のケアの進め方について
第4課題	性に関する指導	生涯を通じて健康な生活を営むための資質や能力を育てる性に関する指導の進め方 豊かな人間性を育み、生涯を通じて健康な生活を営むためには、生命尊重、人間尊重等の理念を基盤とした性に関する指導を進める必要がある。 そのため、発達の段階に応じた指導の進め方について協議する。	① 児童生徒の発達の段階に応じた性に関する指導の進め方について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った性に関する指導の指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した性に関する指導の進め方について
第5課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方 生涯にわたる健康づくりを实践するためには、自分の歯や口の健康に関心をもち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切である。 そのため、歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動の進め方について協議する。	① 歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の充実について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について

課題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第1課題	保健管理	① 徳島県松茂町立喜来小学校 養護教諭 川原 明美	○講師 順天堂大学 教授 采女 智津江 ○指導助言者（コーディネーター） 鹿児島県教育庁保健体育課 指導主事 川畑 千種
		① 愛媛県松山市立道後小学校 養護教諭 村上 由利子	
		② 高知県高知市立城東中学校 養護教諭 澳本 典子	
		③ 愛媛県四国中央市立松柏小学校 養護教諭 真鍋 由佳	
第2課題	保健学習	① 香川県高松市立花園小学校 教諭 大川 祐子	○講師 東海大学 教授 今村 修 ○指導助言者（コーディネーター） 愛知県立一宮南高等学校 校長 大野 芳樹
		② 愛媛県西条市立東予西中学校 養護教諭 高橋 英子	
		③ 愛媛県宇和島市立津島中学校 教諭 梶谷 啓介	
第3課題	心の健康	① 徳島県徳島市上八万中学校 養護教諭 浦野 紀子	○講師 神奈川県精神保健福祉センター 医師 桑原 寛 ○指導助言者（コーディネーター） 横浜市立新羽中学校 副校長 前田 智子
		② 岡山県立倉敷琴浦高等支援学校 校長 河田 いづる	
		③ 愛媛県東温市立西谷小学校 養護教諭 田中 輝美	
第4課題	性に関する指導	① 愛媛県松山市立清水小学校 教諭 黒田 由紀子	○講師 筑波大学 教授・附属中学校長 野津 有司 ○指導助言者（コーディネーター） 埼玉県幸手市立八代小学校 校長 鈴木 美江
		② 香川県さぬき市立造田小学校 養護教諭 棚田 美佳	
		③ 福島県立福島明成高等学校 教諭 林 芳映	
第5課題	歯・口の健康づくり	① 愛媛県立宇和特別支援学校 養護教諭 片桐 弥生	○講師 九州大学大学院 教授 山下 喜久 ○指導助言者（コーディネーター） 東京都教育庁地域支援部義務教育課 歯科保健担当課長 三ツ木 浩
		② 徳島県立徳島科学技術高等学校 養護教諭 近藤 真理	
		③ 高知県いの町立長沢小学校 校長 長瀬 由英	

課題	研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第6課題	学校環境衛生	<p>快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方</p> <p>快適な学習環境をつくるためには、環境衛生活動の充実を図るとともに、教職員及び児童生徒が学校における環境衛生について関心を持つことが必要である。 そのため、学校環境衛生基準を踏まえた学校環境衛生活動の進め方について協議する。</p>	<p>① 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について</p> <p>② 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について</p> <p>③ 児童生徒が主体的に取り組む学校環境衛生活動の在り方について</p>
第7課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	<p>安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方</p> <p>近年、青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用が広がりをみせ、依然として深刻な状況にあることから、安全で豊かな社会と自らの健康を守り育てるための教育を充実する必要がある。 そのため、発達の段階に即し、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止教育を推進する方法について協議する。</p>	<p>① 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する指導計画の作成、実施、評価及び改善について</p> <p>② 小学校、中学校、高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</p> <p>③ 学校、家庭及び地域社会が連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</p>
第8課題	学校事故防止対策	<p>事故・事故災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について</p> <p>学校事故を未然に防ぐためには、日本スポーツ振興センターの災害共済給付データを活用した事故分析手法を各学校で生かすとともに、同センターの調査研究についての理解を深める必要がある。 また、事故検証やそれに基づいた再発防止策の立案と実施、継続、情報発信等の方法について協議する。</p>	<p>① 日本スポーツ振興センターの災害共済給付データを活用した安全対策について</p> <p>② 事件・事故災害の検証に基づいた再発防止対策の在り方について</p> <p>③ 事件・事故災害発生時の適切な対応の在り方について</p>
第9課題	教科等における安全教育	<p>発達の段階に応じた効果的な安全教育について</p> <p>生涯にわたり安全な生活を送るためには、自他の生命尊重の理念を基盤として、進んで安全で安心な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成する必要がある。 そのため、発育発達の段階における特徴を考慮しつつ、効果的な安全教育の進め方について協議する。</p>	<p>① 安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、自らの責任を自覚して行動する生徒の育成について</p> <p>② 的確な判断のもと主体的に行動し、地域の安全活動等に参加する生徒の育成について</p> <p>③ 日常生活において、安全に行動し、他の人々の安全にも気配りできる児童の育成について</p>
第10課題	関係機関等との連携体制整備	<p>学校・家庭・地域が連携した効果的な安全体制整備の在り方と通学路における安全確保の方策について</p> <p>学校安全体制を充実させるには、校内体制を整備するとともに、関係機関や地域ボランティア等との連携を深めることが重要である。 そのため、学校、家庭及び地域社会が連携した効果的な安全体制整備や安全確保方策の在り方について協議する。</p>	<p>① 学校安全充実のための効果的な校内体制の在り方について</p> <p>② 関係機関や地域ボランティア等との連携による防犯・交通安全の体制整備について</p> <p>③ 関係機関や地域ボランティア等との連携による災害安全の体制整備について</p>

課題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第6課題	学校環境衛生	① 愛知県小牧市立北里小学校 養護教諭 丹羽 敦子	○講師 東京薬科大学 教授 北垣 邦彦 ○指導助言者（コーディネーター） 北海道札幌東高等学校 教頭 渡邊 祐美子
		② 愛媛県立今治東中等教育学校 養護教諭 三浦 慶子	
		③ 高知県立春野高等学校 教諭 山岡 ゆう子	
第7課題	喫煙、 飲酒、 薬物乱用 防止教育	① 香川県立土庄高等学校 教諭 鳥居 弘毅	○講師 国立精神・神経医療研究センター 依存性薬物研究室 室長 船田 正彦 ○指導助言者（コーディネーター） 大阪府教育委員会保健体育課 主任指導主事 澤田 佳典
		② 愛媛県西予市立宇和中学校 教諭 二宮 安道	
		③ 茨城県鹿嶋市立高松中学校 養護教諭 関根 幸枝	
第8課題	学校事故防止対策	① 日本スポーツ振興センター 学校安全部安全支援課 課長 岡田 正巳	○講師 東京学芸大学 教授 渡邊 正樹 ○指導助言者（コーディネーター） 香川県教育委員会保健体育課 主任指導主事 高木 成明
		② 名古屋市教育委員会スポーツ振興課 指導主事 小川 博通	
		③ さいたま市教育委員会健康教育課 指導主事 辻野 智香	
第9課題	教科等における安全教育	① 愛媛県立北条高等学校 教諭 網江 浩	○講師 東京女子体育大学 教授 戸田 芳雄 ○指導助言者（コーディネーター） 岩手県教育委員会学校教育室 主任指導主事 森本 晋也
		② 東京都練馬区立大泉北中学校 主任教諭 光益 潤	
		③ 高知県南国市立大湊小学校 校長 岡田 兼治	
第10課題	関係機関等との 連携体制整備	① 宮城県総合教育センター 主幹 西城 光洋	○講師 宮城県教育庁スポーツ健康課 課長補佐 佐藤 浩樹 ○指導助言者（コーディネーター） 徳島県教育委員会体育学校安全課 班長 蔭岡 弘知
		② 河内長野市南花台防犯協力隊 会長 野口 潤三 書記 高野 良作	
		③ 愛媛県愛南町立緑小学校 教諭 二宮 由美	

10 全体会及び課題別研究協議会会場

●全体会・中央大会 会場

ひめぎんホール

〒790-0843

松山市道後町二丁目5番1号

TEL : 089-923-5111

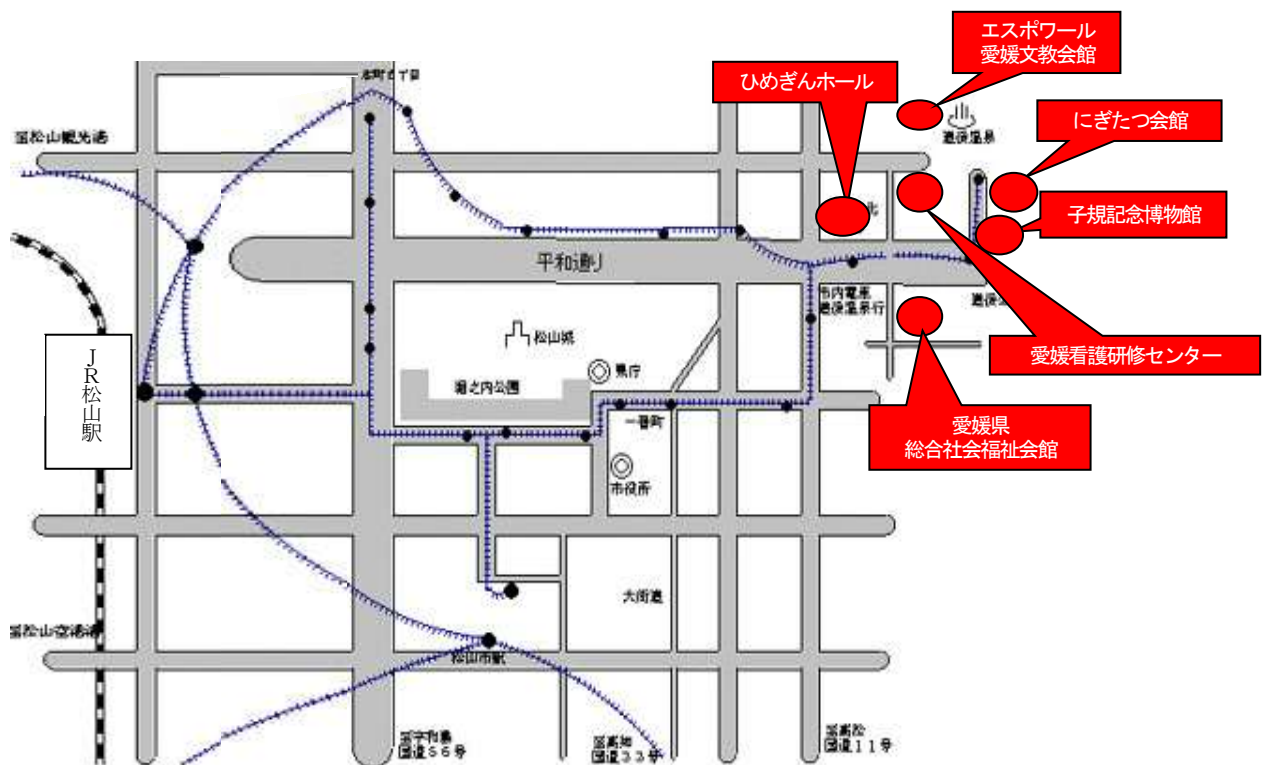
内 容		会 場
1	開会式・表彰式・講演 (12/3)	メインホール (1F)
2	受賞伝達式 (12/3)	真珠の間 (2F)
3	全国学校保健会中央大会 (12/4)	サブホール (1F)

課 題		会 場	
1	保 健 管 理	ひめぎんホール2F 「真珠の間 (B)」	〒790-0843 松山市道後町二丁目5番1号 TEL : 089-923-5111
2	保 健 学 習	にぎたつ会館2F 「楓の間」	〒790-0858 松山市道後姫塚118-2 TEL : 089-941-3939
3	心 の 健 康	愛媛看護研修センター2F 「大研修室」	〒790-0843 松山市道後町二丁目11-14 TEL : 089-923-1287 (県看護協会)
4	性に関する指導	エスポワール愛媛文教会館2F 「大ホール」	〒790-8545 松山市祝谷町一丁目5-33 TEL : 089-945-8644
5	歯・口の健康づくり	ひめぎんホール2F 真珠の間 (A)	〒790-0843 松山市道後町二丁目5番1号 TEL : 089-923-5111
6	学 校 環 境 衛 生	愛媛県総合社会福祉会館2F 「多目的ホール」	〒790-8553 松山市持田町三丁目8-15 TEL : 089-921-5070
7	喫煙、飲酒、 薬物乱用防止教育	にぎたつ会館1F 「芙蓉の間」	〒790-0858 松山市道後姫塚118-2 TEL : 089-941-3939
8	学校事故防止対策	ひめぎんホール3F 「第6会議室」	〒790-0843 松山市道後町二丁目5番1号 TEL : 089-923-5111
9	教科等における 安全教育	子規記念博物館4F 「講堂」	〒790-0857 松山市道後公園1-30 TEL : 089-931-5566
10	関係機関等との 連携体制整備	ひめぎんホール1F 「多目的室」	〒790-0843 松山市道後町二丁目5番1号 TEL : 089-923-5111

***各会場とも駐車場は確保できかねますので、お車でのご来場は極力ご遠慮いただきますよう御協力をお願いいたします。**

会場までの交通アクセス

会 場	交通手段
ひめぎんホール	市内バス 「南町県民文化会館前」下車 徒歩2分 路面電車 「南町駅」下車 徒歩2分
にぎたつ会館	市内バス 「道後温泉駅前」下車 徒歩6分 路面電車 「道後温泉駅」下車 徒歩6分
愛媛看護研修センター	松山空港から リムジンバス (道後温泉駅前行) 市内バス(52番) (道後温泉駅前行)
エスポワール 愛媛文教会館	JR松山駅から 路面電車(道後温泉行) 市内バス(8、52、90番) (道後温泉駅前行)
愛媛県総合社会 福祉会館	市内バス 「南町県民文化会館前」下車 徒歩5分 路面電車 「南町駅」下車 徒歩5分
子規記念博物館	市内バス 「道後温泉駅前」下車 徒歩5分 路面電車 「道後温泉駅」下車 徒歩5分



11 大会参加等について

(1) 大会参加費 ※大会参加申込は旅行契約に該当しません

【愛媛県外】 1名につき 6,000円	【愛媛県内】 1名につき 3,000円
---------------------	---------------------

(2) お申込方法

①インターネットからのお申込(可能な限り、WEBからのお申込でお願い致します)

平成27年度全国学校保健・安全研究大会 公式ホームページ

<https://v3.apollon.nta.co.jp/nichigakuho27/>

- 上記ホームページのWEB参加申込の文字をクリックしてください。申込サイトへアクセス出来ます。
- 同じ所属先で参加費等の精算を一括で行う場合は、代表者の方が同行の方を追加してお申し込みください。参加・ホテル申込の画面に『利用者をリストに追加する』という表示があります。
- お申込完了後は、設定したメールアドレスとパスワードでログインできます。お申込内容の確認・変更・取消はサイト内で行うことが可能です。

②FAXでのお申込(WEBからのお申込が不可能な場合)

(株)日本旅行松山支店 FAX089-932-9091

「参加・宿泊申込書」に必要事項をご記入の上、(株)日本旅行松山支店へFAXにてお申し込みください。申込受信後(休日の場合は翌営業日から)4営業日以内に予約内容確認書をFAXもしくはE-Mailにて返信致します。4営業日以内に返信が届かない場合は(株)日本旅行松山支店までご連絡をお願い致します。

③お申込締切日 **平成27年10月23日(金)**

④12月4日(金)14:00～開催の「全国学校保健会中央大会」については、別途、日本学校保健会から案内がありますので、その案内添付の申込様式でお申し込みください。

(3) お支払方法

①インターネットでお申込の場合

- 個人画面へログインし、『お支払い』ボタンより支払手続きにお進みください。
ご請求書・ご予約確認書をご確認後、お支払方法をご選択ください。
 - ・『銀行振込』の場合
振込予定日を設定してください。設定後お支払方法についてのご案内メールをご登録のメールアドレスへお送り致します。なお、お振込み手数料はご負担ください。
 - ・『クレジットカード払い』の場合
「支払対象選択画面へ」をクリックすると決済画面へ移ります。必要事項をご入力して決済を行ってください。
 - ・ご宿泊領収書をご希望の場合は、E-Mailにてご連絡ください。ご依頼の際には必ず宛名のご指示をお願い致します。

②FAXでお申込の場合

- お申込み後、ご記入いただきましたE-Mailへ予約詳細をお送り致します。11月9日の週にご郵送にてご請求書をお送り致しますのでお振込期限までにご入金ください。なお、お振込み手数料はご負担ください。
ご宿泊領収書をご希望の場合は、「領収書発行依頼書」(別紙)へ詳細をご記入の上FAXでご依頼ください。

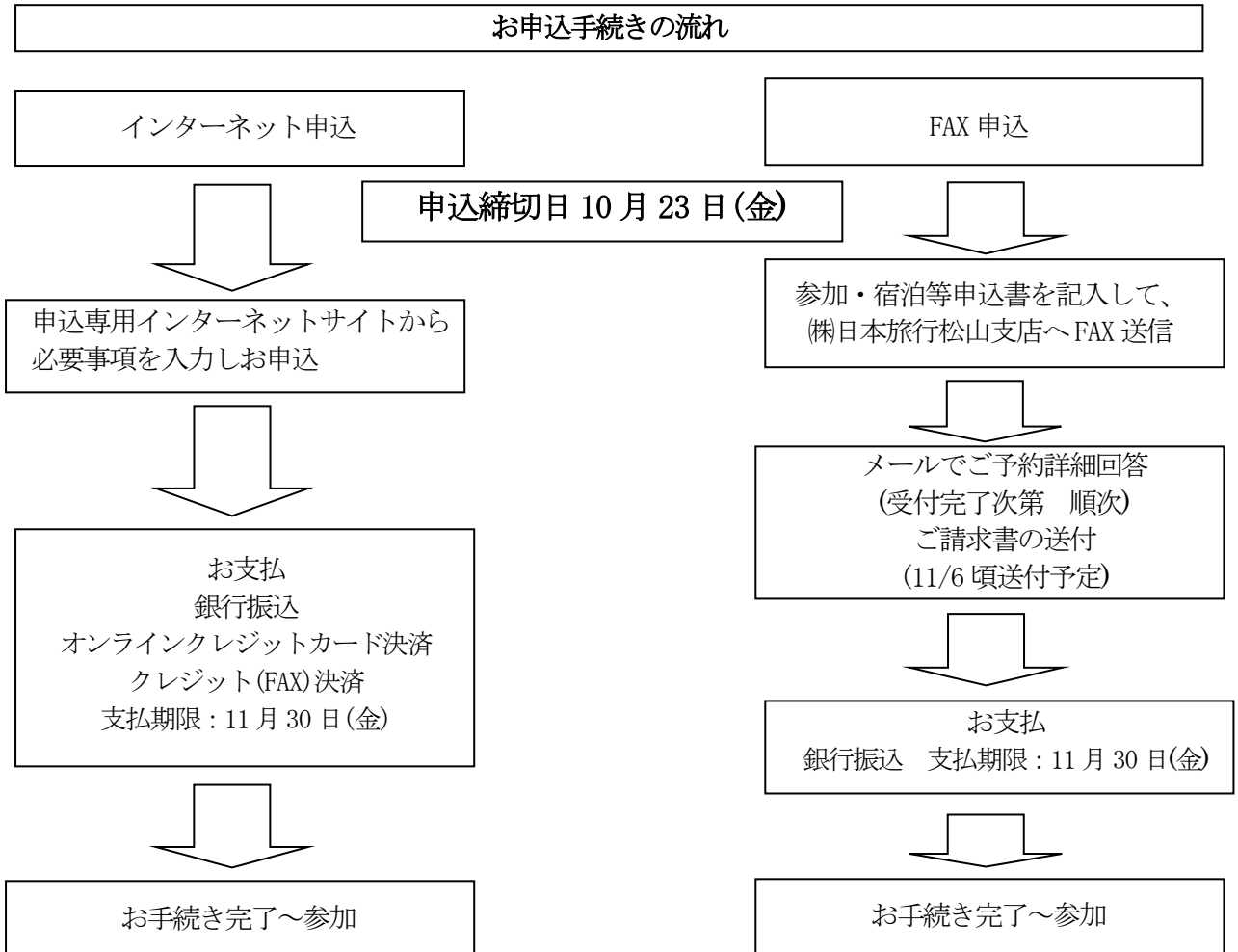
(4) 大会参加確認書の発行

①インターネットでのお申込の場合

お申込完了後、大会申込個人ページ『予約確認・変更』ボタンよりご予約確認書が印刷出来ます。大会当日お申込内容の確認として会場・ホテルへご持参ください。

②FAX でのお申込の場合

お申込後、ご手配完了しましたらメールにてご回答させていただきます。ご予約詳細は回答メールがお手元に届き次第インターネット環境のある方は上記①と同様の形で、インターネット環境の無い方は回答メールをプリントアウトをして大会当日お申込内容の確認として会場・ホテルへご持参ください。



(5) お問い合わせ

【大会の開催内容に関するお問い合わせ先】

平成 27 年度全国学校保健・安全研究大会 愛媛県実行委員会事務局
愛媛県教育委員会事務局保健体育課内
担当：池田・中矢
TEL：089-912-2981/FAX 089-912-2979
E-Mail：nakaya-takeshi@pref.ehime.jp

【参加・宿泊等お申込・お問い合わせ先】

(株)日本旅行松山支店
担当：武知・久保
住所：愛媛県松山市千舟町 5-7-6
TEL：089-933-2668/FAX 089-932-9091
E-Mail：eriko_tashiro@nta.co.jp

(6) ご宿泊のご案内

①宿泊期間：平成27年12月2日(水)、3日(木)、4日(金)、5日(土)

②宿泊ホテル：お一人様料金(1泊朝食付・税金・サービス料込)

FAXにてお申込の方は所定の申込書の『宿泊申込欄』に、ご希望のホテル記号と料金をご記入ください。ご予約は先着順にて承りますので満室の場合はご希望のホテルでご手配出来ない場合もございます。その場合は他ホテルにてご案内させていただきますのでご了承ください。

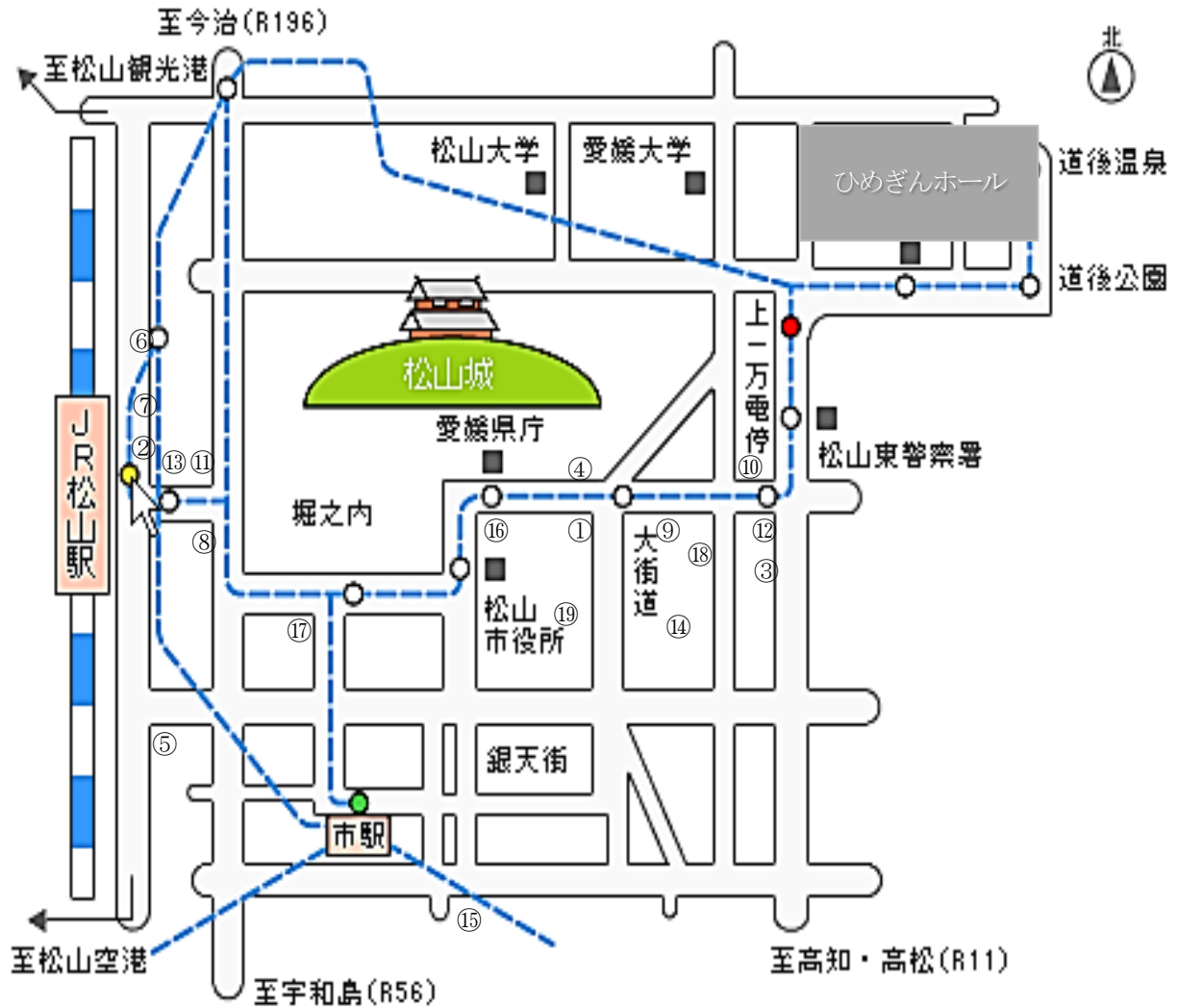
【松山市内】

宿泊施設名	申込記号	客室タイプ	料金	ホテルからひめぎんホールまでのアクセス
松山全日空ホテル	1-SA	別館シングル	¥10,800	市内電車 10分
	1-SM	本館シングル	¥12,800	
	1-T	本館ツイン	¥11,300	
ターミナルホテル松山	2-S	シングル	¥6,600	市内電車 20分
ビジネスホテル勝山	3-S	シングル	¥6,900	徒歩+市内電車 10分
	3-T	ツイン	¥5,800	
松山東急REI ホテル	4-S	シングル	¥9,200	市内電車 10分
スカイホテル	5-S	シングル	¥8,100	徒歩+市内電車 25分
ホテルクラウンヒルズ松山	6-S	シングル	¥8,500	徒歩+市内電車 25分
ホテルサンルート松山	7-S	シングル	¥7,600	市内電車 20分
	7-T	ツイン	¥6,500	
ホテル JAL シティ松山	8-S	シングル	¥8,600	市内電車 17分
CANDEO HOTELS 松山	9-S	シングル	¥9,500	市内電車 10分
	9-T	ツイン	¥8,500	
国際ホテル松山	10-S	シングル	¥8,700	徒歩+市内電車 13分
	10-T	ツイン	¥8,600	
松山シティホテル	11-S	シングル	¥8,400	
東横 INN 松山一番町	12-S	シングル	¥6,500	市内電車 6分
ホテルニューカジワラ	13-S	シングル	¥5,900	市内電車 20分
	13-T	ツイン	¥5,600	
チェックイン松山	14-S	シングル	¥7,100	徒歩+市内電車 15分
ビジネスホテル末広 ※素泊まり	15-S	シングル	¥5,700	徒歩+市内電車 25分
	15-T	ツイン	¥5,400	
	15-R	トリプル	¥4,200	
愛媛県庁前 ホテルアビス松山	16-S	シングル	¥6,100	市内電車 12分
東京第一ホテル松山	17-S	シングル	¥7,600	市内電車 16分
	17-T	ツイン	¥6,500	
HOTEL TOPINN	18-S	シングル	¥5,400	徒歩+市内電車 13分
松山ニューグランドホテル	19-S	シングル	¥7,400	徒歩+市内電車 15分

【道後地区】

宿泊施設名	申込 記号	客室タイプ	料金	ホテルからひめぎんホール までのアクセス
大和屋本店	51-S	シングル	¥12,500	徒歩+市内電車 8分
	51-W	和室 4~5名利用	¥10,300	
道後館	52-S	シングル	¥28,700	徒歩+市内電車 10分
	52-T	ツイン	¥20,900	
	52-R	トリプル	¥18,200	
	52-W	和室 4~5名利用	¥16,900	
ホテル葛城	53-S	シングル	¥10,800 <small>12/5のみ¥12,800</small>	徒歩+市内電車 8分
	53-T	ツイン	¥8,700 <small>12/5のみ¥11,900</small>	
	53-R	トリプル	¥7,600 <small>12/5のみ¥10,800</small>	
	53-W	和室 4~5名利用	¥9,800 <small>12/5のみ¥13,500</small>	
花ゆづき	54-S	シングル	¥13,000 <small>12/5のみ¥16,800</small>	徒歩+市内電車 8分
	54-T	ツイン	¥11,900 <small>12/5のみ¥15,700</small>	
	54-R	トリプル	¥10,800 <small>12/5のみ¥14,100</small>	
	54-W	和室 4~5名利用	¥9,800 <small>12/5のみ¥13,500</small>	
ホテル古湧園	55-T	ツイン	¥14,100 <small>12/5のみ¥18,400</small>	徒歩+市内電車 10分
	55-R	トリプル	¥11,900 <small>12/5のみ¥16,200</small>	
	55-W	和室 4~5名利用	¥10,800 <small>12/5のみ¥15,200</small>	
宝荘ホテル	56-W	和室 5名 1室	¥7,600 <small>12/5のみ¥10,800</small>	徒歩+市内電車 10分
道後プリンスホテル	57-W	和室 3~4名 1室	¥9,800 <small>12/5のみ¥13,000</small>	ホテルバス+市内電車 10分
ホテル椿館	58-WM	本館 和室 5名利用	¥9,800 <small>12/5のみ¥14,100</small>	徒歩+市内電車 10分
	58-WA	別館和室 5名利用	¥7,600	
ホテルルナパーク	59-S	シングル	¥11,900	徒歩+市内電車 8分
	59-T	ツイン	¥7,600	
オールドイングランド道後山の手ホテル	60-S	シングル	¥11,900	徒歩+市内電車 9分
ホテルパティオ・ドウゴ	61-S	シングル	¥8,800	徒歩+市内電車 7分
	61-T	ツイン	¥8,800	
奥道後 壱湯の守	62-ST	シングル・ツイン	¥7,600	路線バス+市内電車 35分
	62-R	トリプル	¥7,100	

【松山市内宿泊施設】



① 松山全日空ホテル	② ターミナルホテル松山
③ ビジネスホテル勝山	④ 松山東急 REI ホテル
⑤ スカイホテル	⑥ ホテルクラウンヒルズ松山
⑦ ホテルサンルート松山	⑧ ホテル JAL シティ松山
⑨ CANDEO HOTELS 松山	⑩ 国際ホテル松山
⑪ 松山シティホテル	⑫ 東横 INN 松山一番町
⑬ ホテルニューカジワラ	⑭ チェックイン松山
⑮ ビジネスホテル末広	⑯ 愛媛県庁前 ホテルアビス松山
⑰ 東京第一ホテル松山	⑱ HOTEL TOPINN
⑲ 松山ニューグランドホテル	

(7) 視察旅行について

愛媛県の魅力を十分知っていただけるコースをご用意致しました。この機会に是非ご参加下さい。3コースとも添乗員がご同行させていただきます。

お申込受付・参加者様へのご案内は、宿泊等と同様一括管理させていただきます。

《日帰りAコース》(出発日: 12/4(金)) 日本三古湯『道後温泉』街満喫コース	
日本三古湯の一つと言われる 道後温泉 。道後一の老舗旅館でお食事の後は観光ガイドと共に温泉街の散策をお楽しみ下さい。地ビール・タルト等愛媛ならではの土産も全て揃います! 商店街入口では からくり時計 のご鑑賞とすぐ隣の 足湯 も楽しめます。その後松山が生んだ 俳人・正岡子規 の博物館をご鑑賞下さい。来松の記念に一句投函、いかがでしょうか?	
ひめぎんホール	ふなや【昼食】 道後温泉本館・商店街散策&坊ちゃんからくり時計
13:00	13:10 14:00 14:10 (からくり時計 15:00~) 15:15
. . . 子規記念博物館	JR 松山駅 松山空港
15:20 16:00	16:30 16:50
お一人様 ¥7,000	定員 40 名様(最少催行人員 20 名様)

《日帰りBコース》(出発日: 12/5(土)) 城主気分で松山散策と道後温泉散策コース	
『行って良かった! 日本の城ランキング2位』に輝いた 松山城 を訪れるコースです。山頂に本丸があるので中腹までロープウェイに乗車いただけます。車内からは松山市内が一望できます。お城下の ロープウェイ街 は近年の整備によっておしゃれな通りに生まれ変わり雰囲気満点です。今治タオル・柑橘等愛媛らしい土産もたくさんあります。お食事は 愛媛の郷土料理 をご満喫下さい。	
松山市駅	ロープウェイ街・松山城・坂の上の雲ミュージアム 五志喜【昼食】
9:15	9:45 12:30 12:40 13:30
. . . 道後温泉本館・商店街散策	JR 松山駅 松山空港
13:50	15:00 15:30 16:00
お一人様 ¥9,500	定員 40 名様(最少催行人員 20 名様)

《1泊2日コース》(出発日 12/4(金)) 坊っちゃん列車としまなみめぐりコース	
明治 21 年に松山の路面を走っていた蒸気機関車の 坊っちゃん列車 に乗車いただけます。小説『坊っちゃん』の主人公の気分を味わってください。2 日目はサイクリングの聖地 しまなみ海道 をご観光頂きご昼食は 瀬戸内のお魚 をお召し上がりください。ご昼食後は世界に誇る 今治タオル の美術館へご案内致します。	
12/4(金) ひめぎんホール	ふなや【昼食】 《途中からくり時計をご鑑賞下さい》
	13:10 13:20 14:10 (14:30~)
. 道後温泉駅	松山市駅 今治 <今治国際ホテル泊>
15:02	15:18 15:30 16:45
12/5(土) 今治	大山祇神社 伯方の塩工場 大潮荘【昼食】
8:30	9:40 10:20 10:25 11:10 12:00 12:45
. . タオル美術館 ICHIHIRO	JR 松山駅 松山空港
13:40	15:00 16:20 16:40
お一人様 ¥26,800	定員 35 名様(最少催行人員 20 名様)

(8) 変更・取消について

①大会参加費の取扱

参加申し込み後の大会欠席については、大会参加費を返金出来ませんので予めご了承下さい。
ただし、大会誌は後日送付致します。

②インターネットでのお申込の場合

申込サイトにて変更・取消を承ります。ただし、申込締切後はサイト上では取消・変更手続きはお受けできませんので、FAX 及びE-Mail にて(株)日本旅行松山支店までご連絡下さい。

③FAX でのお申込の場合

お申しいただいた「参加・宿泊等申込書」に変更・取消事項をご記入の上、FAX で(株)日本旅行松山支店までお送り下さい。お電話での変更・取消はお受け出来かねますので予めご了承下さい。

④取消料

取消の場合、旅行契約の解除期日によりご旅行代金に対して下記の旅行条件書に記載の取消料が掛ります。

※取消日とは、お客様が当社の営業日・営業時間内に弊社へご連絡いただいた日とします。

[宿泊] ご出発日の前日より起算してさかのぼって

4 日前まで	3 日前から前日まで	当日	旅行開始後の解除 または無連絡不参加
無料	20%	50%	100%

[観光※日帰旅行] ご出発日の前日より起算してさかのぼって

11 日前まで	10 日～8 日前まで	7 日～2 日前まで	前日	当日	旅行開始後の解除 または無連絡不参加
無料	20%	30%	40%	50%	100%

[観光※1泊2日旅行] ご出発日の前日より起算してさかのぼって

21 日前まで	20 日～8 日前まで	7 日～2 日前まで	前日	当日	旅行開始後の解除 または無連絡不参加
無料	20%	30%	40%	50%	100%

ご旅行条件書(要約)

【このパンフレットは、旅行業法第12条の4に定める取引条件の説明書面及び同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。】

1. 募集型企画旅行契約

(1) この旅行は、(株)日本旅行松山支店(以下「当社」といいます)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結していただくことになります。

(2) 募集型企画旅行契約の内容・条件は、各コース毎に記載されている条件のほか、ご旅行お申し込み時にお渡しする旅行条件書、出発前にお渡しする最終日程表及当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

2. 旅行のお申込みと契約の成立

(1) 申込書に所定事項をご記入の上、ご旅行代金をご入金下さい。ご旅行代金は、旅行代金、取消料、または違約料の一部または全部として繰り入れます。

(2) 契約は、旅行成立はお申込金(一部又は全額)を収受した時に成立いたします。

(3) 団体、グループ(家族)の代表者を契約責任者として契約の締結及び解除に関する取引を行います。

(4) 旅行代金は11/30までにお支払いいただきます。

3. 旅行中止の場合…ご参加のお客様が当パンフレットに明示した最少催行人員に満たない場合、当社は旅行の催行を中止する場合があります。この場合、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって13日目に当たる日より前に連絡させていただき、お預かりしている旅行代金の全額をお返します。

4. 旅行代金に含まれるもの及び含まれないもの

パンフレットに記載された日程に明示された交通費、食料代、入場料、消費税等諸税及び添乗員同行費用が含まれます。旅行日程に記載のない交通費等の諸費用及び個人的性質の諸費用は含まれません。

5. 取消料…お客様は、次の取消料をお支払いいただくことにより旅行契約を解除することができます。なお、取消日とは、お客様が当社の営業日、営業時間内に解除する旨をお申し出いただいた日とします。

旅行契約の解除期日	取消料(おひとり)	
	右記日帰り旅行以外	日帰り旅行(夜行含む)
①21日前に当たる日以前の解除	無料	無料
②20日前に当たる日以降の解除 (③～⑦を除く)	旅行代金の20%	無料
③10日前に当たる日以降の解除 (④～⑦を除く)	旅行代金の20%	旅行代金の20%
④7日前に当たる日以降の解除 (⑤～⑦を除く)	旅行代金の30%	旅行代金の30%
⑤旅行開始の前日の解除	旅行代金の40%	旅行代金の40%
⑥旅行開始の当日の解除 (⑦を除く)	旅行代金の50%	旅行代金の50%
⑦旅行開始後の解除 または無連絡不参加	旅行代金の100%	旅行代金の100%

【宿泊のみ申込の場合】

	旅行開始後の解除 または無連絡不参加	取消料				
		当日	前日	2～3日前	4～5日前	6～7日前
1～14名	100%	50%	20%	無料		
15～30名	100%	50%	20%	無料		
31名以上	100%	50%	30%	10%		

6. 個人情報の取り扱い

(1) 株式会社日本旅行はご提供いただいた個人情報について、①お客様との間の連絡のため、②旅行に関して運送・宿泊機関等のサービス手配、提供のため、③旅行に関する諸手続のため、④当社の旅行契約上の責任において事故時の費用等を担保する保険手続のため、⑤当社及び当社と提携する企業の商品やサービス、キャンペーン情報の提供、旅行に関する情報提供のため、⑥旅行参加後のご意見やご感想のお願いのため、⑦アンケートのお願いのため、⑧特典サービス提供のため、⑨統計資料作成のため、に利用させていただきます。

(2) 上記②、③の目的を達成するため、お客様の氏名、住所、電話番号、搭乗便名等を輸送・宿泊機関、土産物店に提供する事があります。なお、土産物店への個人情報の提供の停止をご希望される場合は、当該するパンフレットに記載する旅行申込窓口宛にご出発の10日前までにお申し出ください。

(3) 当社及び当社グループ会社はお客様からご提供いただいた個人情報のうち、氏名、住所、電話番号、メールアドレス等の連絡先を、各社の営業案内、キャンペーン等のご案内のために、共同して利用させていただきます。共同利用する個人情報は、当社個人情報保護管理責任者が責任を持って管理します。なお当社グループ会社の名称は当社のホームページ(<http://www.nta.co.jp>)をご参照下さい。

(4) 当社は個人情報の取扱を委託することがあります。

(5) お客様は、当社の保有する個人データに対して開示、訂正、削除、利用停止の請求を行うことができます。問い合わせ窓口は訂正のみ販売店、それ以外はお客様相談室でお受けいたします。

(6) 一部の任意記入項目にご記入いただけない場合、未記入の項目に関連するサービスについては、適切にご提供できないことがあります

個人情報保護管理者(お客様相談室長)

問い合わせ窓口: 本社お客様相談室

電話: 03-6895-7883 FAX: 03-6895-7833

e-mail: sodan_shitsu@nta.co.jp

営業時間: 平日 9:45～17:45

(7) このパンフレットに記載の旅行日程等の旅行条件は、平成27年1月1日現在を基準としています。

詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上、お申し込み下さい。

領収書発行依頼書

	領 収 証	※② No. 108154 I
	RECEIPT	平成 年 月 日
※①	ご氏名 _____ 様	
<small>(ご注意)</small> 本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。		
	金額 ￥ 見 本	
※③	ただし _____	〔1. 現金 2. 小切手 3. 振込 4. クレジット(カード) (¥) 5. その他()〕
	上記金額正に領収いたしました。	
収入印紙	株式会社日本旅行 松山 営業本部 7763 支店 NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.	責任者印
	扱者名 _____	

宛名 『 _____ 』

※①宛名をご記入下さい。空白・上様宛は発行できませんのでご了承ください。

※②領収書発行日となります。空白・日付をさかのぼっての発行はできませんのでご了承ください。

(入金日は但し書きに記載いたします。)

※③特に指定が無い場合は『〇/〇 松山市内宿泊代として』と記載させていただきます。
 ご希望内容がある場合はご記入下さい。

領収書が必要な方は下記ご記入の上、メールまたは FAX にてお送り下さい。
 大会終了後、入金確認が出来ましたらに発行・ご郵送いたします。
 ※クレジットカードご利用の場合、発行まで2~3週間程度お日にちを頂く場合もございます。

勤務先・所属名 『 _____ 』

申込担当者名 『 _____ 』

送付先：日本旅行 松山支店
 担 当：武知・久保
 F a x：089-932-9091